

# 音楽科学習指導案

作成者：野上華子

## 1. 指導内容：〔共通事項〕 旋律

〔指導事項〕 A表現（1） — ア・イ（ア）・ウ（ア）

## 2. 題材名：歌で日本を元気づけよう

## 3. 題材の目標：「花の街」の曲想と旋律や歌詞の内容との関りについて理解するとともに、「花の街」にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌い、平和を願う思いとともに長年愛されてきた歌曲に親しむ

## 4. 対象学年：中学2年生

## 5. 教材：「花の街」 江間章子作詞 團伊玖磨作曲

## 6. 教材と題材について

「花の街」は、終戦直後の1947年に作曲され、NHKラジオ番組「婦人の時間」で放送された歌曲である。壇伊久間の隣人から、江間章子の「花の街」の詩に歌をつける依頼を受けたことがきっかけで、この歌曲が誕生した。放送された当時の日本は、まだ焼け野原であったり地下壕で暮らしていた人もいたりした。華やかなタイトルや歌詞、曲想からは想像のつかないような、悲しく悲惨な現実を抱えている。

1・2番の歌詞では明るく美しい作詞者の幻想の街、3番では苦しみや悲しみなど人々の現実の姿が描かれている。この「花の街」に対して、批判的な訴えが作曲者に多く寄せられたが、当時さまざまな反対の声があったとしても、歌で日本を励まそうとした歴史と密接に関係のある生きた音楽であると言える。

「花の街」の前奏では、希望があふれている様子を思い起こさせるようなアルペジオの上行形が何度も登場し、穏やかになり落ち着いたところで歌が入ってくる。歌の旋律は、形式をとっておらず、まるで作曲者の思いを自由に、また即興的に表現しているように次々と変化する。初めはなめらかで、比較的落ち着いた音域で歌われている。8部休符が多く取り入れられていることで、なめらかでありながらもわずかに躍動を感じる。「輪になって」が繰り返されるごとに音高が上がっていき、一気に楽曲の頂点へとのぼりつめる。その後、一気に下行し、静かに曲が閉じられる。1～3番までであるが、すべて同じような工夫をもって演奏するのではなく、それぞれの歌詞に合った表現の工夫が必要である。

この曲の歌詞や曲想と抱えている現実との“ずれ”を感じさせることを導入とした。生徒にとっての音楽（歌）は、この平和な時代に、個人にとっての楽しみや励ましになることがほとんどであるため、日本で実際にあった歴史的な部分とつなげることで、社会における音楽の存在や影響を考えるきっかけとさせたい。

全体で「花の街」を歌唱したのちに、グループで演奏発表することを目指して授業をすすめる。発表に向けてのグループ活動では、当時の作詞者や作曲者と同じように、まず自分たちが伝えたい相手や内容を決めるなど状況設定をさせる。“昔にあったこと”から現代に視点を置くことで、演奏することに意味をもたせることを意図した。

自らの演奏を客観的に評価する機会として、途中で一度プレ発表会を設定した。本番と同じように、教室の前で全員が鑑賞している環境で発表させる。その際演奏を録画し、それを見て振り返らせることで、自らの表現をより豊かにするための工夫をさらに見つけたり、伝わる表現をめざしてどのような演奏を改善したらよいかを発見したりすることを目的とした。また前で演奏する時、環境の変化やそれに伴う緊張が大きく邪魔をし、思い通りに表現できないことも多くある。一度発表を経験することで人前で演奏する環境に慣れさせ、少しでもそれらを緩和することにつなげる。加えて、工夫に行き詰まっているグループや意欲的に活動できていないグループにとっても、自分の発表を振り返るだけでなく、他グループの演奏を知ること、刺激を受けたり新しい手がかりを得たりするきっかけにもなるとした。

最後の個人の振り返りシートでは、班で話し合わせた内容をまとめるとともに、発表会で録画したものから演奏を評価し、振り返らせる。

7. 指導計画：(全3時)

ステップ	学 習 活 動	時数
経 験	音楽の特徴や楽曲の背景について理解して歌う 設定した状況に沿って、イメージに合った表現の工夫を考える	第1時
分 析	自分たちの演奏を評価・分析し、表現を豊かにするための工夫の手がかりを得る	第2時
再経験	より伝わる演奏にするために、さらに工夫を加えたり演奏を改善したりする	
評 価	グループごとに発表し、自身の演奏について評価する。	第3時

8. 題材目標・評価規準：

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><b>知</b> 「花の街」の曲想と旋律や歌詞の内容との関わりを理解している。</p> <p><b>技</b> 創意工夫を生かした表現で「花の街」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表現している。</p>	<p><b>思</b> 「花の街」の旋律、速度、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「花の街」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p>	<p><b>態</b> 「花の街」の歌詞が表す情景や心情および作曲の背景に関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

9. 展開：

活動のねらい	生徒の活動	指導者の活動	評価
<p><b>経 験</b></p> <p>音楽の特徴や楽曲の背景について理解して歌う 設定した状況に沿って、イメージに合った表現の工夫を考える</p>			
<p>◆「花の街」のタイトルや歌詞と、曲想の関わりについて知覚・感受する</p> <p>◆「花の街」の作曲された背景について知る</p> <p>◆「花の街」の旋律を理解する</p> <p>◆グループで「花の街」の表現を工夫する</p>	<p>○「花の街」というタイトルを聞き、イメージすることを共有する。</p> <p>○「花の街」を1～3番まで聴き、気づいたことを共有する。</p> <p>○作曲者と作詞者の言葉を知り、当時の日本の現状を知る。</p> <p>○「花の街」を歌う</p> <p>○「誰に向けて」「どのような状況だから」「どのようなメッセージを伝えたいのか」、グループで状況設</p>	<p>・イメージは自由に出させ、ホワイトボードに板書する。</p> <p>・感じ取ったことなどの理由を尋ねるようにし、音楽の特徴に結びつけるようにする。</p> <p>・必要に応じて教科書を開いたり、音源を再度流して、旋律の動きについて確認する。</p> <p>・先に作曲者の言葉を紹介する。</p> <p>・何度も聴いたり、旋律を確認したりしているので、音取りはしない。一度全体で通して歌い、生徒の様子から難しいと思われる部分を取り出して指導する。</p> <p>・先に、状況設定を考えさせる。</p> <p>・「誰にむけて」は現在だけでなく、過去や未来など、架空の設定</p>	

	<p>定をして、ワークシートに書き込む。</p> <p>○状況設定したことをもとに、1～3番について、雰囲気やイメージ・伝えたい内容、また音楽の特徴など、気づいたことをワークシートのベン図に書き込む。</p> <p>○ベン図に記入したものと状況設定と照らし合わせて、最も伝えたいメッセージが最も表れているものを1～3番から選ぶ。</p> <p>○伝えたいメッセージに沿って、表現を工夫する。</p>	<p>でもよいこととする。また、特定の人物であっても、相称でもかまわない。</p> <p>・ベン図の書き方として、全体として共通している事柄は、3つの円が重なっている真ん中に記入する。</p> <p>・1・2番、1・3番、2・3番の重なりがあるが、すべて埋める必要はない。</p> <p>・まずその中で最もメッセージが強く表れているところを探らせ、そこから工夫させる。</p> <p>・ワークシートの楽譜に、記号や言葉など自由に使って書き込む。</p> <p>・グループを回り、楽譜に書き込んでいる工夫の意図を尋ねる。</p>	<p>態〈観察〉</p>
<b>分析</b>	<b>自分たちの演奏を評価・分析し、表現を豊かにするための工夫の手がかりを得る</b>		
◆自分のグループの演奏について評価する	<p>○プレ発表会をおこない、自分たちの演奏を録画する。</p> <p>○録画したものを見直し、自分たちのグループの演奏について評価・分析する。</p>	<p>・ロイロノートのグループの共有ノートに、授業者が録画する。</p> <p>・自分たちで決めた工夫が、演奏で明確に表現されているか評価するよう促す。</p> <p>・活動があまり積極的でないグループには、助言する。</p>	
<b>再経験</b>	<b>より伝わる演奏にするために、さらに工夫を加えたり演奏を改善したりする</b>		
◆さらに豊かな表現にするために工夫する	<p>○評価・分析したことをもとに、さらに改善点や工夫点を見直す。</p> <p>○発表会にむけて練習する</p>	<p>・共有ノートで演奏を録音してもよいことを伝える。</p>	<p>態〈観察〉</p>
<b>評価</b>	<b>グループごとに発表し、自身の演奏について評価する。</b>		
◆自身の演奏について振り返る	<p>○発表会をおこない、演奏を録画する。</p> <p>○自分たちの演奏を、録画を見て振り返り、伝わる演奏について考える</p>	<p>・ロイロノートのグループの共有ノートに、授業者が録画する。</p> <p>・振り返りシートに記入させる。</p>	<p>知〈ワークシート〉</p> <p>思〈ワークシート〉</p> <p>態〈ワークシート〉</p>